館報
やまがた
3月号
No.839
令和8年
(2026年)

働く姿シリーズ

子育てしている人を支えるのは、就職する前からやりたかった仕事です

丸山（まるやま）　雄矢（ゆうや）さん（松本市）

2024年４月に山形村役場に就職し、昨年９月まで産業振興課に、10月から現在の子育て支援課に所属している丸山さん。全く異なる業務内容に、慣れるまで少し大変だったとのことでした。育児支援には、経済学部の学生だったころから関心があり、今回、図らずも希望が叶った形になったそうです。

「保育士さんたちと一緒に、すくすくの運営職員の一員として働いています。異動から半年、まだまだ先輩方から教わることも多いですが、担当している業務を責任を持ってやり遂げるようにしています」。

決して口数の多いタイプではありませんが、それだけに、一言一言を丁寧に紡（つむ）ぎ出す丸山さん。「電子申請など、すくすくを利用してくださるみなさんにとって、より便利な仕組みを用意していきたいです」と話していました。

（３月３日　子育て支援センターすくすくにて）

下竹田分館「春を待つ集い」

2月14日㈯、下竹田公会堂で、分館行事「春を待つ集い」が開かれました。10時より人権学習講座、13時より昔の遊び体験、15時より懇親会の終日イベントでした。

人権学習講座は教育長の大池昌弘さん（下大池）を招き、フェイクニュースなど嘘に惑わされない目を養うための講座でした。

人権学習講座ワーク

午後は子どもも多数参加し、大いに賑わいました。

昔の遊び体験

晴天吉日、上竹田区公会堂にEV充電設備完成

真っ青な空の下、落成式挙行！

上竹田公会堂前駐車場に電気自動車（EV）充電設備の設置が終わり、2月21日㈯、落成式が行われました。

晴天に恵まれた真っ青な空の下、関係者60名が参加され、設備の使い方の説明に続いて、関係者・来賓によるテープカット、彌磨太鼓の演奏が行われ、設備の完成を祝いました。

事業費は国の補助金を活用し、設備の使用には、スマホアプリで事前予約、オンラインでの決済が可能で、どなたでも利用できます。

設置された充電設備

中大池分館区民の集い

1月18日㈰、中大池分館区民の集いが開催されました。今回は玉之湯でゆったりとしたひと時を過ごしました。参加した平沢哲也さんは「コロナ明けで何年かぶりの区民の集いでした。良い思い出になりました。また来年も参加したいです」と話していました。

告知板

令和8年度 生涯学習カレンダー 配布開始！

◎連絡班加入世帯の方

この館報と一緒に連絡長から配布されます。

◎連絡班未加入世帯の方（敷地内同居含む）

教育委員会から送付されるハガキと引き換えでトレーニングセンター窓口にて無料で1部配布します。

◎二世帯住宅など、2部以上欲しい方

トレーニングセンター窓口で
1部520円で販売しています。

生涯学習カレンダーは村公式ホームページでも公開しています。

桜のライトアップ＆桜の下でコンサート

〈内容〉小学校の枝垂桜の下でコンサートと夜にはライトアップを行います。
〈日時〉4月11日（土）夕方頃から
※タイムスケジュールはホームページをご確認ください。
※気候により桜の開花のタイミングと合わない可能性がございます。
その他：桜の写真投函イベントも同時開催します。

公民館講座のお知らせ

4月も魅力的な公民館講座がいっぱい！
気軽にご参加ください。

山形村の地質環境を知って減災を実現しよう！

〈内容〉信州大学の大塚先生による、地質の観点から学ぶ防災減災講座です。
〈日時〉4月26日(日)13:30～15:30頃
〈場所〉トレセン大ホール 〈参加費〉無料

各講座の詳細はホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】
山形村公民館 ☎0263-98-3155

山すそ

今年は丙午（ひのえうま）。丙午といえば迷信。それを象徴するのが、八百屋お七という若い娘が、恋い慕う男に会いたい一心で引き起こした放火事件。お七は丙午の年に生まれたことから「丙午に生まれた女性は気性が荒く、夫を食い殺す」という根拠のない迷信が生まれ、さらに女児の出産を避けられた▼迷信は文化的視点から見れば興味深い。かつて人々はその物語を真剣に忌避し、恐れてきた。現代の視点から「お七の呪いは迷信だ」と断じるのは容易だが、現在拡散されている「フェイクニュース」を、同じように迷信だと退けることはできるだろうか。不確実性の高い情報が広まりやすいという現状を前に「それは迷信だ」と結論づけるのは困難である。当時の迷信に基づく混乱は、科学が進展していない中で信じざるを得なかったという背景が窺（うかが）える▼今年は60年ぶりの丙午。迷信に基づく産み控えは少ないと思われるが、近年は毎年が丙午状態。もし今年の出生率の減少を「お七のせいだ」と結論づけるのだとしたら、それこそ現代におけるフェイクニュースではないだろうか。

SUKI-1グランプリ ダンスバトル2025 決勝大会出場

大池 志歩さん（下竹田）

2月5日㈭、役場へ、1月18日㈰に東京で行われたSUKI－1グランプリ ダンスバトル2025決勝大会に出場した大池志歩さん（下竹田）が表敬訪問に訪れました。

大池さんはダンスラボラトリー・アトライム（松本ダンスチーム）所属の東京都市大学塩尻高等学校の1年生。

SUKI－1グランプリとは90秒に全てを詰め込むパフォーマンスで、高校生ラージ（10名以上のチーム）の部に出場しました。

大池さんは「大会で一番頑張ったことは、スモールとラージがあり、ジャンルも分かれているので、そろえることが見ている人にも大切だと思いメンバーのみんなと振りをそろえたところです。大会に参加してみて、経験したことがなくて緊張しましたが、それぞれ参加している人たちがダンスで表現することが好きなのが伝わって、ダンスっていいなと思いました」と話してくれました。

学びの発表会

2月17日㈫、山形小学校体育館で6年生の学びの発表会が開かれました。

6年生59名は総合的な学習の一環で「山形村の魅力の再発見」をテーマに9つのグループに分かれ、それぞれ興味のあること、関心に応じたテーマでグループごとにまとめ、各ブースで学習の成果を発表しました。

「村の歴史」や「観光」、「村内の貴重な生き物」等、模造紙を使用したりパンフレットを作成したり、中には紙芝居を使って発表するグループもありました。

6年生最後の参観日となったこの日、各ブースでは堂々と発表する姿に多くの拍手が送られ、成長した我が子を見守る保護者の感慨深げな表情も印象的でした。

鉢盛クラブ体験会

2月14日㈯から、鉢盛中学校を主な会場として鉢盛クラブ体験会がありました。鉢盛クラブとは、今までの部活動が地域クラブになった場合の活動場所への不安などを解決するために設立された組織です。

14日㈯は男子バスケ、女子バスケ、女子バレー、ソフトテニス、15日㈰は吹奏楽と合唱、28日㈯は卓球、3月14日㈯にバドミントンと演劇が、小学5・6年生を対象に、それぞれのクラブ活動の体験が行われました。

合唱（鉢盛中学校合唱部）の体験会に参加した根橋るんなさん（小6・下竹田）は「先輩たちの歌が聴けたし、一緒に歌うこともできてとても楽しかったです。来年、ぜひ参加して一緒に活動したいです」と話していました。

山形保育園 ありがとうの会

2月13日㈮、山形保育園でありがとうの会が開かれました。この会は保育園で1年間お世話になった方へ感謝の気持ちを伝えるために行われました。

野菜などをくださった方や絵の先生、演奏をしてくれた方など、子どもたちが感謝を伝えたい12名の地域の方が訪れました。会を企画した年長さんが進行し、手作りの花束や園児全員から「ありがとうの花」のプレゼントが贈られました。地域の方からは、皆さんの元気で地域を明るくしてくださいとお話がありました。ステージの飾りは年中さんが制作しました。ありがとうの気持ちがこもった、とてもあたたかい会となりました。

鉢盛中学校への寄贈

鉢盛中学校創立60周年記念寄付金活動は、皆さまからお寄せいただいたご厚意により332、112円が集まり、ジェットヒーターを1台購入して寄贈致しました。

皆さまの暖かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

平成元年鉢盛中学校卒業同期会

風

（敬称略）

おめでた（子・親）

大槻 晴仁（ハルト） 俊哉
宮澤 希紘（キイト） 沙也加 小坂
塚田 珠唯（スイ） 悠亮 上大池
翔太 咲笑 下竹田
利沙子

おくやみ

赤羽 きよ子・95歳・上大池
塩原 睦子・101歳・上竹田
上條 綾美・55歳・中大池
唐沢 博子・77歳・小坂
上條 安子・77歳・中大池

でとう！

山形小学校6年1組

6年1組 30名〈担任〉日下部 拓朗先生

鉄道車両の整備士 東津原龍馬	音楽の仕事がやりたいです 澁田千穂美	俳優になりたい 石川よい	YOUTUBERになる 植田凌生	獣医になってたくさんの動物を救う!! 上野貴史	優しい人になりたい 大池翼	声優になって人を笑顔にしたい。 小野夏実	イラストレーターになってたくさん絵を書きたい! 上森悠志	鷹匠になる 川上ひかり	保育士になって小さな子たちを笑顔にする 桐原蒼依
プロゲーマーになりたいです!! 桐原茉祐	だれにでも優しくできる人 黒沢光	テニス選手になって活やくする 小林郁斗	パソコン関係の仕事をしたい 小林琉星	プロ野球選手になる 齋藤巧真	美容師になってお客さんの好きなかみ型にする 櫻山結愛	歯科医師になる 杉本奏太	平和に過ごす。 田邊生	美容師になってみんなを笑顔にする! 竹野伶	柔道でオリンピックに出場して金メダルを取る!その後、柔道の先生になり世界で活やくする選手を育てる 竹野入澪
動物園か、水族園の飼育員になりたい 竹村実緒	美容師になってたくさんの人を笑顔にする。 藤縣莉愛奈	サッカー選手でかつやくすること 藤澤奏翔	ちゃんと勉強をしてカストオーディアルになりたい 古畑心春	新種の冬虫夏草を発見したいです。 堀楓愛	車の整備士になりたい 本間千陽	図書館の司書さんになりたい! 三枝由茉	イラストレーター 小川沙花	人に思いやりができやさしい人になりたいです。 星晴香	自衛隊になり国の人を守る。 百瀬公星

将来の夢

卒業おめ

山形小学校6年2組

6年2組 29名 〈担任〉大野 幸子先生

心理カウンセラーになって子どものなやみを聞きたい。 市川 心晴	お笑芸人になり、M-1グランプリで優勝する。 條 源太	美容師さんになって、すてきなかみにしてあげたい。 稲葉 琉	医師になって命をすくいたい。 上原 梓	シェフになって、おいしい料理を作りたい。 加藤 玄司	テニスを上手くなって大会に出たい。 上条 航太朗	美容師になってお客さんを笑顔にする。 鬼頭 夜香	仕事もしゅ味も全力で楽しむ！ 小林 未来	サッカーのプロになる。 佐々木 碧
公務員になって、四十七都道府県を旅行する。 佐藤 ほのか	バスケのコーチになって教え子たちを県大会に出場させたい。 柴 彦蓮	絵を描く仕事でみんなを幸せにする。 須山 暁仁	安定した収入が入る、会社員になる。 高木 澪依	野球選手として甲子園に出る。 高倉 琥葵	サッカーJリーグ優勝！ 高野 創太	社会に役立つ人になる。 高山 東央莉	山形村のみりょくを伝えられるような仕事につきたい。 田口 双葉	だれかの支えになる。 堤 湧大
自分の好きな会社にはいる。 中野 心夢	会社員になってお金をたくさんかせぐ。 永井 響	滋賀県立びわ湖博物館で働きたい。 西牧 凌	役者になって見てくれた人を笑顔にしたい。 根橋 るんな	大工になってたくさんの家を建てたくさんの人を幸わせにしたい。 林 真輝	人を助ける医者になる。 細川 茅生	飼育員になる。 増沢 美紗	イラストレーターになりたい。 北山 果歩	イラストレーターになって好きな絵をかく。 村上 夏渚
コックさんになって、おなかがすいている人にいっぱい食べさせてあげたい。 村上 蓮	幸せな家で暮らす。 山桃 李							

将来の夢

戦後80年企画「戦争の記憶・戦後の記憶」

今年度の館報やまがたでは、7月号より2ヶ月ごと、計4名の方からお話をお聞きしてまいりました。女性の声がないのは、不自然に思われ、今号では、女性4名の方にお話を伺いました。なお、匿名希望ということでお名前は伏せさせていただきます。

聞き書き、文書編集：館報編集部　清原

1932（昭和7）年10月24日朝日村西洗馬生まれ、15歳で就職時、名古屋駅周辺の焼け野原にバラック小屋が立ち並ぶ風景、メロンや野菜の青空市を目撃。現在93歳。

飛行場整備工事と教科書に墨塗

私の学校生活は義務教育だけですが、勤労奉仕がほとんどでした。戦争が終わると、先生の指示に従って教科書に墨を塗りました。陸軍松本飛行場の整備工事に勤労動員されました。朝日小学校を出発して今井の河原（鎖川河畔）につくと、指定の大きさの石を2つ持たされ、工事場所まで歩き、指定の位置においた後、また河原に戻り石を持って移動する。これを何度か繰り返す作業でした。

家族総出の農作業

父は、朝鮮半島、満州、樺太に陸軍の兵舎を作りに徴用され、兄は予科練に行ってました。男手が無いので、家族総出で農地を耕し稲や小麦を育て野菜も作りました。昭和10年、12年生まれの弟たちは、牛や山羊の餌を刈り、出来た堆肥を私や2つ上の姉が田畑に撒きました。姉は、母と農作業、私は夕飯の食事作りを担当しました。収穫しても、軍への供出で、家に残るお米は僅かで、兄弟5人と母が食べるのにやっとでした。妹はまだ乳飲み子で、末の弟はまだ生まれてませんでした。

父の最後の徴用

松代大本営を作りに行くと、朝鮮半島から動員された労務者の食糧事情は劣悪で、「同じ人間なのに差別され、食べ物が少なく割り当てられて可哀想だ」と母に炒り豆、薄焼きなど季節季節のものを作ってもらって、ひと背負い持って帰っていきました。

あんな時代は二度と嫌です、戦争こそしないでもらいたいと思います。

1940（昭和15年）11月25日、名古屋市生まれ、昭和20年終戦後の農地解放による家の事情での父の帰郷に伴い、5歳で山形村へ移住。現在85歳。

生活の暗転

父が、いとこと会社を興し経営に参画。軍需工場の経営陣で困らない生活をしてました。農業経験のない父でしたので、良いものが生産できず、生活は一転、苦しいものに変わりました。

昭和22年4月の山形小学校入学式時、空襲による書類の焼失のためか理由は不明ですが、住所移転手続きに不備があり、入学者名簿に自分の名前がありませんでした。ただ、それは私だけでは無くてね。そんな、戦後の混乱を経験した世代です。

名古屋空襲の記憶

瑞穂区に住んでました。空襲の時、防空壕に入らないで酷く叱られたこと、天白川の対岸に爆弾が落ちるのを見たことを鮮明に覚えてます。焼夷弾は落ちると炎が上がるんです。直撃された防空壕の方が亡くなったのを後から聞きました。こちらの岸に落ちたら今の私は居なかったです。

1932（昭和7）年8月11日上竹田生まれ、村内に嫁ぎ、農業に従事、お漬物名人。現在93歳。

小学校の生活

昭和14年4月に入学、翌昭和15年（皇紀2600年）、小学校の講堂が新築されました。卒業時は東組（男）、中組（混合）、西組（女）の3クラスでした。学校から帰ると近所の幼子の子守をしてお駄賃（お菓子）をもらいました。

学校のグランド内周にカボチャの種を撒いたこと、先生が「勤労奉仕」と言いながら、天気の良い日に校外に連れ出して、畑の土手に級友全員を座らせて、本を読んでくれたことをはっきりと覚えています。

最も辛かったのは「履き物の配給」です。ゴム製品は配給頼りで、履き物は草履か下駄でした。一回の配給数は限られるため、家が学校から遠い人から割り当てられ、なかなか私のところには配られなくて。

学校制度

終戦の年、国民学校高等科1年生（13歳）、翌年高等科2年が修了、続けて新制中学3年生となり、翌春新制の村立山形中学校卒業、新制中学一期生の学年です。

中学を卒業

上の学校に行く事なく、役場の2階で小学校家庭科石井先生から和裁を習いました。着物を作り終え、皆でそれを着て（集合）写真を撮りました。別棟2階では、機械編みの講習もありました。

嫁ぐまで

農家の草むしりをしたり、波田の安藤苗圃に苗木の選別作業に行って日銭を稼ぎました。お蚕さまの幼虫のオスメスの仕分け作業もしましたね。

嫁いで水道が通った時

嬉しかったですね。家の前の道路に水道管が埋設され、天秤棒を担ぐことから解放されました。近くのつるべ井戸で水を汲み、お勝手にあるカメの中に汲み入れてましたから。

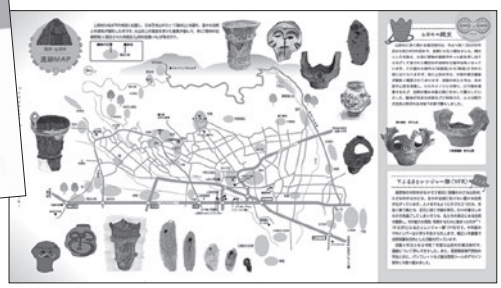
続 糸車 ㉚

身近にある自然を観察し、その魅力を発見・発信するY（やまがた）ふるさとレンジャー隊の令和7年度パンフレット「山形村 縄文時代」が完成しました。

令和7年度は山形村の歴史をテーマに活動してきました。今年度の活動は山形村の歴史ということで、清水寺や山形小学校周辺の歴史、縄文時代についてまなびを深めてきました。

学習していく中で、山形村の縄文時代についてさらに深掘りしていくこととなりました。縄文時代の人の生活を体験すべく、土器づくりや、勾玉づくりにも挑戦してきました。

活動の集大成として、毎年作成しているパンフレットにも力を入れました。縄文時代の人々の生活や、村内の遺跡も載せています。ぜひ手に取ってみてください！



令和7年度パンフレット

鉢盛中に感謝状（人権作文）

このたび、鉢盛中学校に第44回中学校人権作文コンテストへの協力と貢献に対し、長野地方法務局から感謝状が贈られました。これを受けて2月19日㈭、長野地方法務局・関賢一松本支局長らが鉢盛中学校を訪問し、藤松隆雄校長に感謝状を伝達しました。

鉢盛中学校は、日頃から人権教育に力を入れていて、毎年多くの生徒が人権作文に取り組み、昨年の人権作文コンテスト（法務局松本支局管内）で優良賞1名、佳作2名が選ばれ、内2名は山形村出身の生徒でした。

感謝状

松本市山形村朝日村中学校組合立
鉢盛中学校　殿

貴校は第四十四回全国中学生人権作文コンテスト長野県大会の実施に多大な協力をいただき推進事業思想の普及高揚に貢献されましたことに深く感謝の意を表します

令和七年十一月三十日

長野地方法務局長
長野県人権擁護委員連合会会長
佐藤 純
春日 利夫

クイズ午年の山形村 解答

本紙2月号で出題したクイズの解答です。

お楽しみいただけましたでしょうか。

第1問 正解は①**葉タバコ**です。栽培面積約20ha（ヘクタール）、耕作者178名で栽培されました。

第2問 正解は②**80周年**です。11月3日、記念式典が行われ、制定された校歌も発表されました。

第3問 正解は③**11億8千万円**です。ちなみに令和8年度予算は約49億4千6百万円です。

第4問 正解は③**水色**です。漫画「水色山路」の原作者・藍まりと氏が取材で清水を訪れた際、あたり一面霧に覆われ、水の中にいるようなイメージを持ち、そこから水色がタイトルに付きました。

第5問 正解は③**コメリ**です。12月にオープンしました。アイシティ21（平成13年10月オープン）の翌年でした。

第6問 正解は②**140周年**です。この年は消費税が8%に引き上げられた年でした。なお、150周年は一昨年でした。

第7問 正解は…**もうしばらくお待ちください。**3月24日㈫告示、29日㈰投開票の予定です。

山形村公民館報『館報やまがた』№839　3月号　令和８年３月発行
編集と発行／長野県東筑摩郡山形村公民館　印刷／カシヨ株式会社
館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ（こちらのQRコードから）でも見ることができます→